

証券コード
4015



2021年8月期第2四半期
決算説明資料

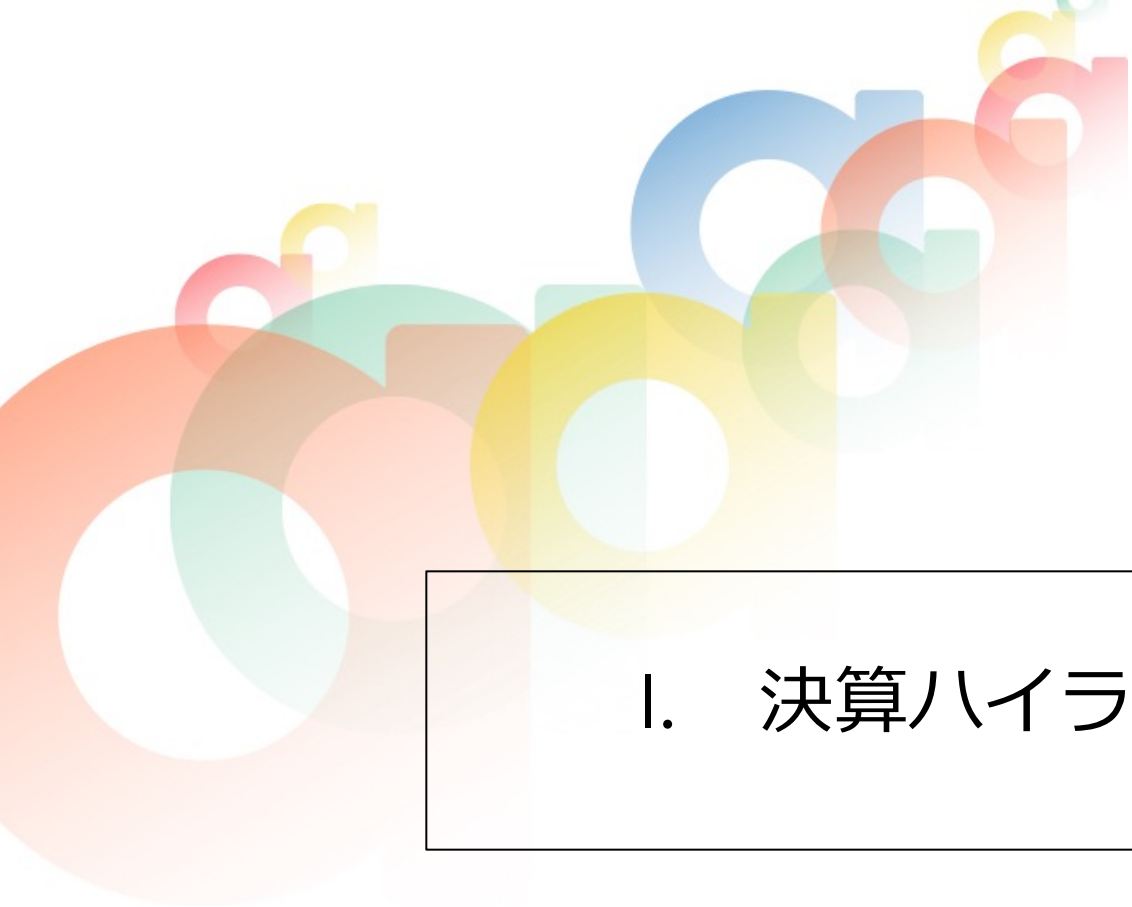
2021年4月13日
アララ株式会社

FY2021 2Q

2020年12月～2021年2月

- I. 決算ハイライト
- II. 事業別業績・指標
- III. 2021年8月期業績計画
- IV. 成長戦略
- V. Appendix

注：当資料における2020年8月期に関しては、監査未了の資料を使用しております。



I. 決算ハイライト

決算ハイライト

2021年8月期第2四半期 業績概要（損益計算書①）



- ✓ 2Q累計決算は前年比37%増収、営業利益は3.5倍。
- ✓ 営業利益、経常利益の通期見通し進捗率は、約100%となり、ほぼ達成。

単位：百万円	2020/8期2Q累計 (2019年9月-2020年2月)	2021/8期2Q累計 (2020年9月-2021年2月)	前年比		通期見通し 進捗率
			増減額	変化率	
売上高	611	838	+226	+37.0%	56.9%
売上原価	224	233	+9	+4.0%	
売上総利益	387	604	+217	+56.0%	
(売上総利益率)	63.3%	72.1%	+8.8pt	-	
販売費及び一般管理費	313	344	+31	+9.9%	
営業利益	74	260	+185	3.5倍	98.9%
(営業利益率)	12.1%	31.0%	+18.9pt	-	
経常利益	78	249	+170	3.2倍	101.2%
(経常利益率)	12.9%	29.7%	+16.8pt	-	
四半期純利益	69	212	+143	3.1倍	95.5%
(四半期純利益率)	11.3%	25.4%	+14.1pt	-	

決算ハイライト

2021年8月期第2四半期 業績概要（損益計算書②）

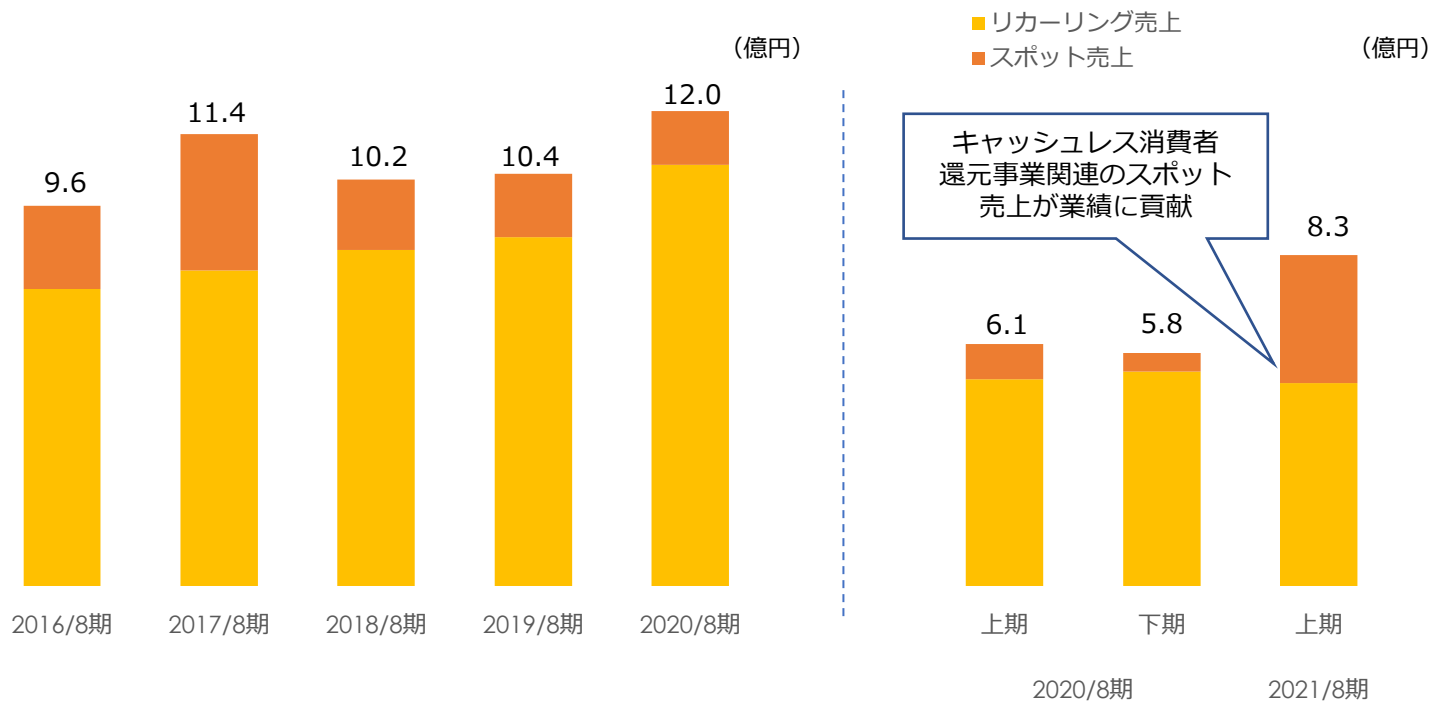


- ✓ 2Q単独では大幅増収増益。四半期ベースでの過去最高を更新。
- ✓ 2Q単独の業績拡大は、スポット売上が貢献。

単位：百万円	2020/8期				2021/8期		前四半期 比変化	前年同期 比変化
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
売上高	309	302	286	302	329	508	+54.0%	+68.2%
売上原価	120	103	104	98	139	94	-32.3%	-9.1%
売上総利益	189	198	182	203	190	413	2.2倍	2.1倍
(売上総利益率)	61.0%	65.7%	63.5%	67.4%	57.8%	81.4%	+23.6pt	+15.8pt
販売費及び一般管理費	153	159	157	165	173	170	-1.6%	+7.0%
営業利益	35	38	24	38	17	243	14.3倍	6.3倍
(営業利益率)	11.4%	12.8%	8.5%	12.7%	5.2%	47.8%	+42.7pt	+35.0pt
経常利益	37	41	25	37	2	246	91.2倍	5.9倍
(経常利益率)	12.0%	13.8%	8.9%	12.5%	0.8%	48.5%	+47.7pt	+34.7pt
四半期純利益	32	36	22	52	4	208	52.0倍	5.7倍
(四半期純利益率)	10.6%	12.0%	7.7%	17.4%	1.2%	41.0%	+39.8pt	+29.0pt

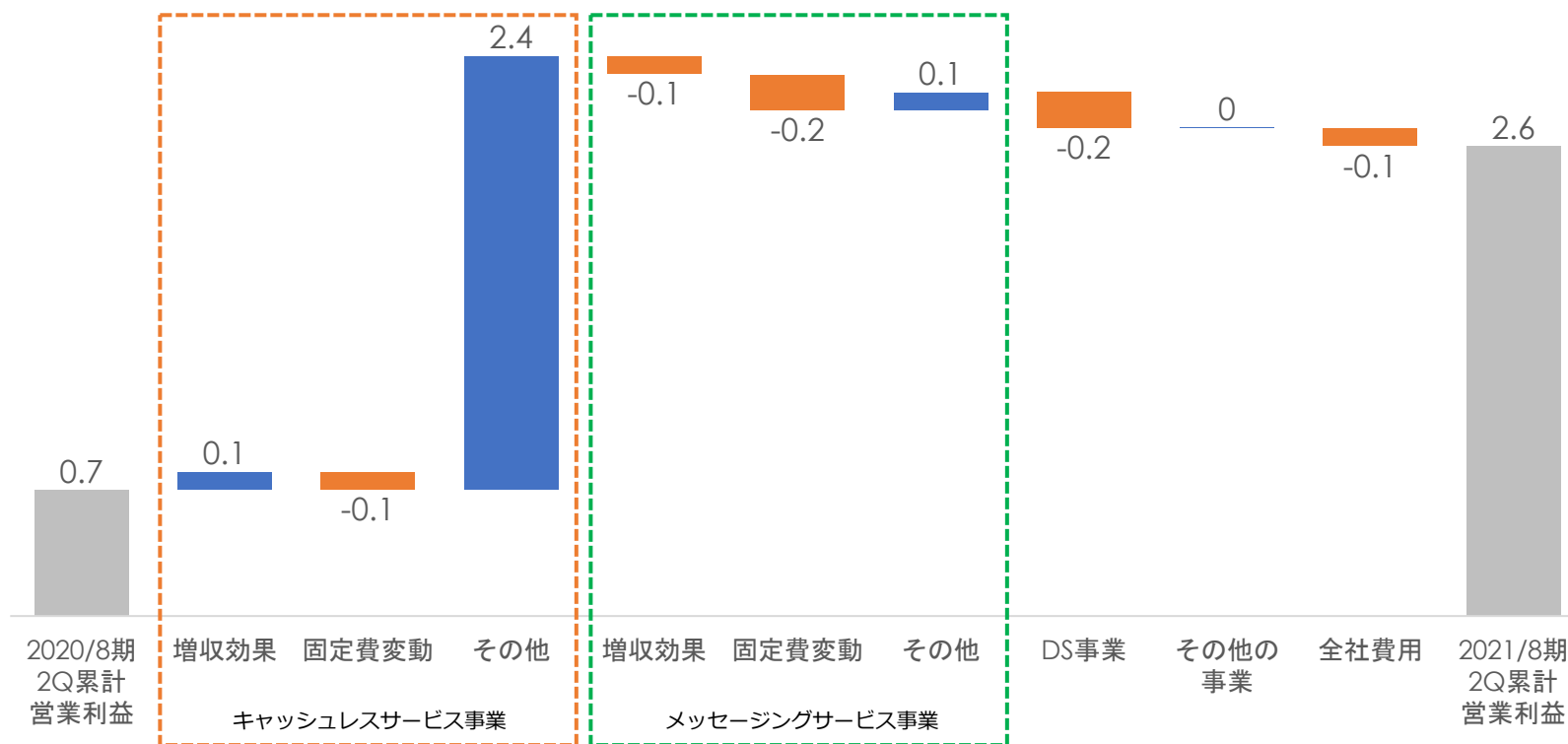
- ✓ 過去から順調にリカーリング売上は拡大。
- ✓ 当四半期については、キャッシュレス消費者還元事業関連のスポット売上が業績拡大に貢献。

リカーリング/スポット売上推移



- ✓ 今後の成長投資・本社機能強化による費用増を計上。

2021年8月期第2四半期 累計営業利益増減要因分析
(億円)



決算ハイライト

2021年8月期第2四半期 業績概要（貸借対照表）



- ✓ 増資による純資産拡大を受けて、2Q末の自己資本比率は76%まで上昇。
- ✓ 積みあがったキャッシュを今後、成長投資に振り向ける計画。

単位：百万円	2020/8期末	2021/8期2Q末	前期末比増減
流動資産	844	1,441	+597
うち現預金	700	1,307	+606
うち売掛金	133	120	-12
固定資産	210	254	+44
うち無形固定資産	102	143	+40
総資産	1,054	1,696	+641
負債	634	403	-230
うち有利子負債	100	100	±0
純資産	420	1,293	+872
自己資本比率	39.9%	76.2%	+36.3pt

決算ハイライト

2021年8月期第2四半期 業績概要（キャッシュフロー計算書）



- ✓ 上場時の増資により、2Q末現預金は大幅に増額。
- ✓ 投資キャッシュフローは、過去比較ほぼ倍のペースで進捗。

単位：百万円	2018/8期	2019/8期	2020/8期	2021/8期2Q累計
営業キャッシュフロー	89	145	416	20
うち税前利益	-112	99	141	249
うち償却費	93	32	27	15
投資キャッシュフロー	-49	-63	-42	-55
うち無形固定資産投資	-47	-53	-44	-51
フリーキャッシュフロー*	39	82	373	-34
財務キャッシュフロー	-36	-42	74	641
うち有利子負債	-36	-42	74	-
うち増資	-	-	-	660
期末現預金	212	252	700	1,307

*フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー



II. 事業別業績・指標

決算ハイライト

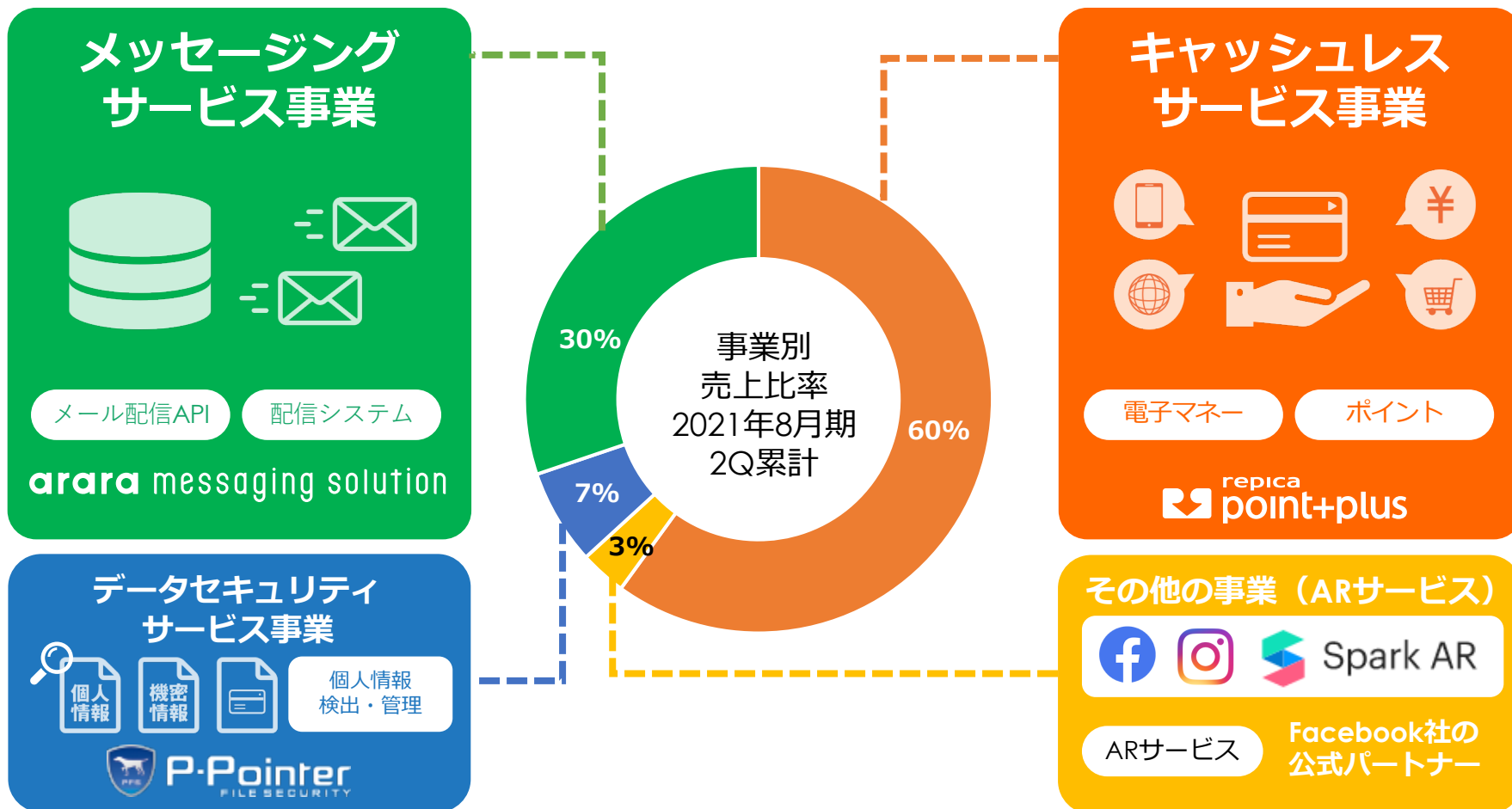
2021年8月期第2四半期 業績概要（セグメント情報）



- ✓ 成長事業のキャッシュレスサービス事業は、第2四半期も売上拡大。
- ✓ メッセージングサービス事業等のその他事業は巡航速度で安定的に推移。

単位：百万円	2020/8期				2021/8期		2Q/1Q 変化	2Q/前2Q 変化
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
キャッシュレスサービス事業								
売上高	129	122	118	117	169	333	+164	+210
セグメント利益	28	36	36	41	43	257	+213	+221
メッセージングサービス事業								
売上高	129	132	132	133	124	129	+4	-3
セグメント利益	66	71	65	64	53	56	+3	-14
データセキュリティサービス事業								
売上高	35	38	29	33	27	27	+0	-10
セグメント利益	15	16	8	12	7	9	+1	-7
その他の事業								
売上高	14	8	6	17	8	17	+8	+9
セグメント利益	-1	-7	-8	0	-7	0	+8	+8
全社費用	-74	-77	-76	-80	-80	-81	-0	-3

✓ キャッシュレスサービス事業は全社に占める売上比率が60%に拡大し、当社の最大事業に成長。



注：「Facebook」「Instagram」「Spark AR」は、Facebook, Inc.の登録商標です

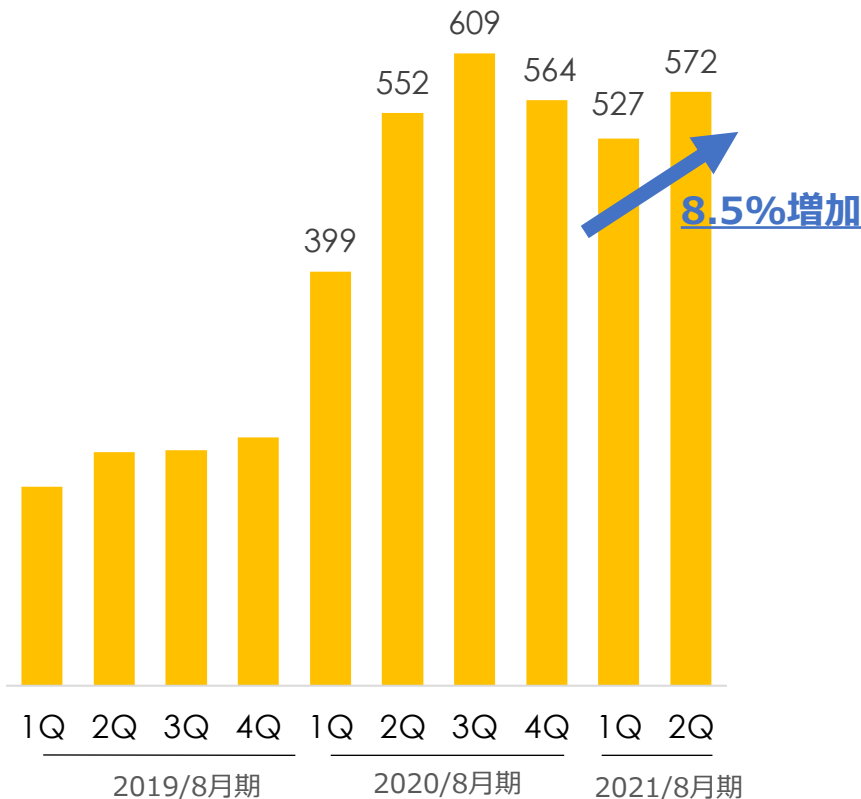
キャッシュレスサービス事業主要KPI ハウス電子マネー決済額・顧客数・累計エンドユーザ数の四半期推移



- ✓ 当四半期のハウス電子マネー決済額は、572億円。対前四半期で増加に転じ、8.5%増加。
- ✓ 決済額推移の先行指標となる顧客数、累計エンドユーザ数は順調に増加。

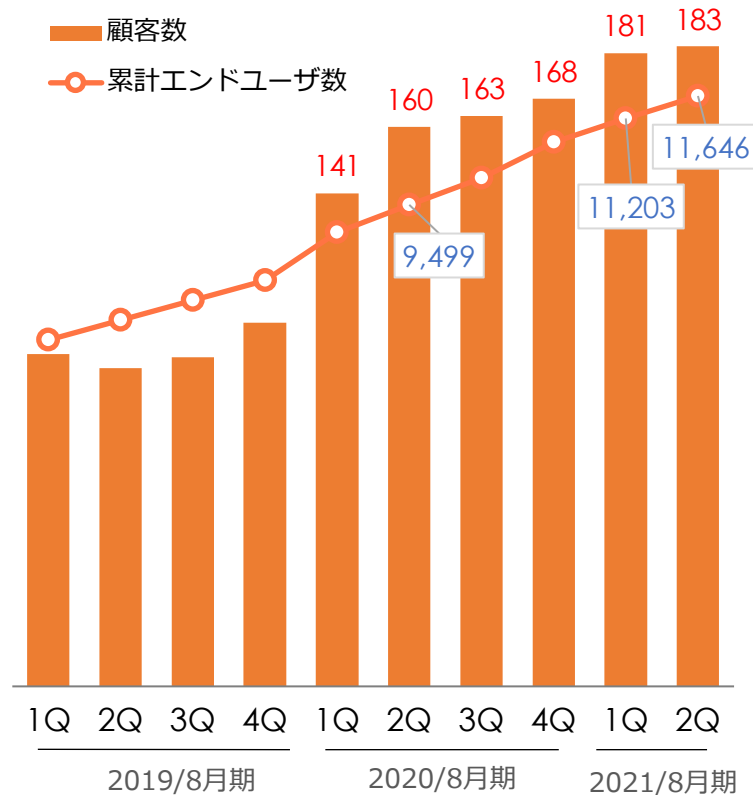
ハウス電子マネー決済額

(億円)



顧客数・累計エンドユーザ数の推移

(社、千人)





III. 2021年8月期業績計画

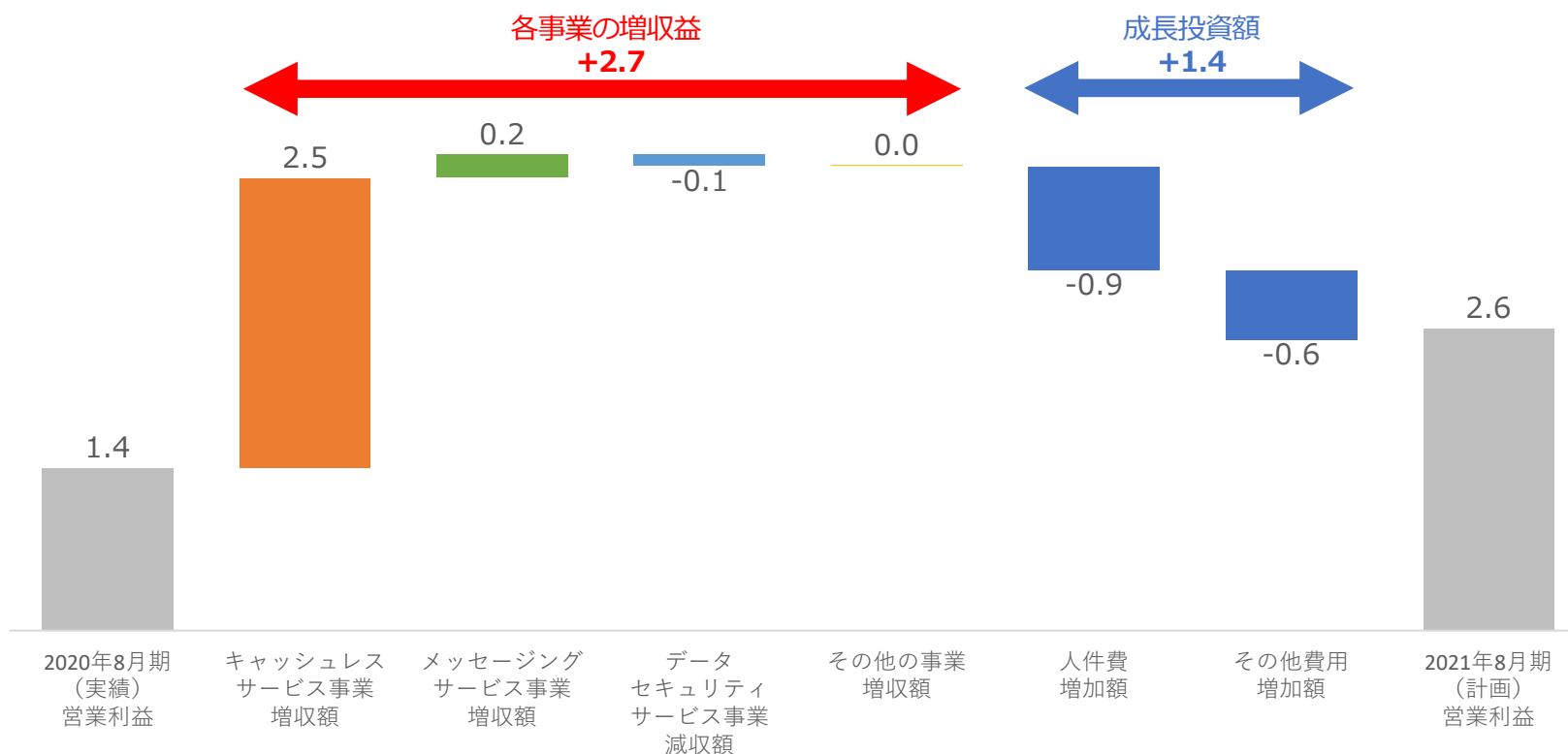
- ✓ 通期見通しは22%増収92%営業利益という従来想定を据置き。営業利益率は18%を想定。
- ✓ 通期利益は、確保済。下期は、来期以降の成長加速のための費用増を想定。

単位：百万円	2020/8期			2021/8期			2021/2020 変化
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期想定	通期想定	
売上高	611	589	1,201	838	634	1,472	+22.6%
売上原価	224	203	427	233	221	454	+6.3%
売上総利益	387	385	773	604	412	1,017	+31.6%
(売上総利益率)	63.3%	65.5%	64.4%	72.1%	65.1%	69.1%	+4.7pt
販売費及び一般管理費	313	323	636	344	409	754	+18.5%
営業利益	74	62	136	260	3	263	+92.2%
(営業利益率)	12.1%	10.7%	11.4%	31.0%	0.5%	17.9%	+6.5pt
経常利益	78	63	142	249	-2	246	+73.8%
(経常利益率)	12.9%	10.7%	11.8%	29.7%	-0.3%	16.8%	+4.9pt
当期純利益	69	74	143	212	9	222	+54.3%
(純利益率)	11.3%	12.7%	12.0%	25.4%	1.5%	15.1%	+3.1pt

単位：百万円	2020/8期			2021/8期			2021/2020 変化
	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期想定	通期想定	
キャッシュレスサービス事業							
売上高	252	235	488	502	239	742	+254
セグメント利益	64	78	142	301	31	333	+190
メッセージングサービス事業							
売上高	262	266	528	253	298	551	+22
セグメント利益	137	130	267	110	149	259	-7
データセキュリティサービス事業							
売上高	74	63	137	55	72	128	-9
セグメント利益	32	20	52	16	21	37	-14
その他の事業							
売上高	22	24	46	26	23	50	+3
セグメント利益	-8	-8	-16	-6	-17	-23	-7
全社費用	-152	-157	-309	-161	-182	-343	-34

✓ 前期末からの営業利益の増減要因は、従来見通しのとおり。

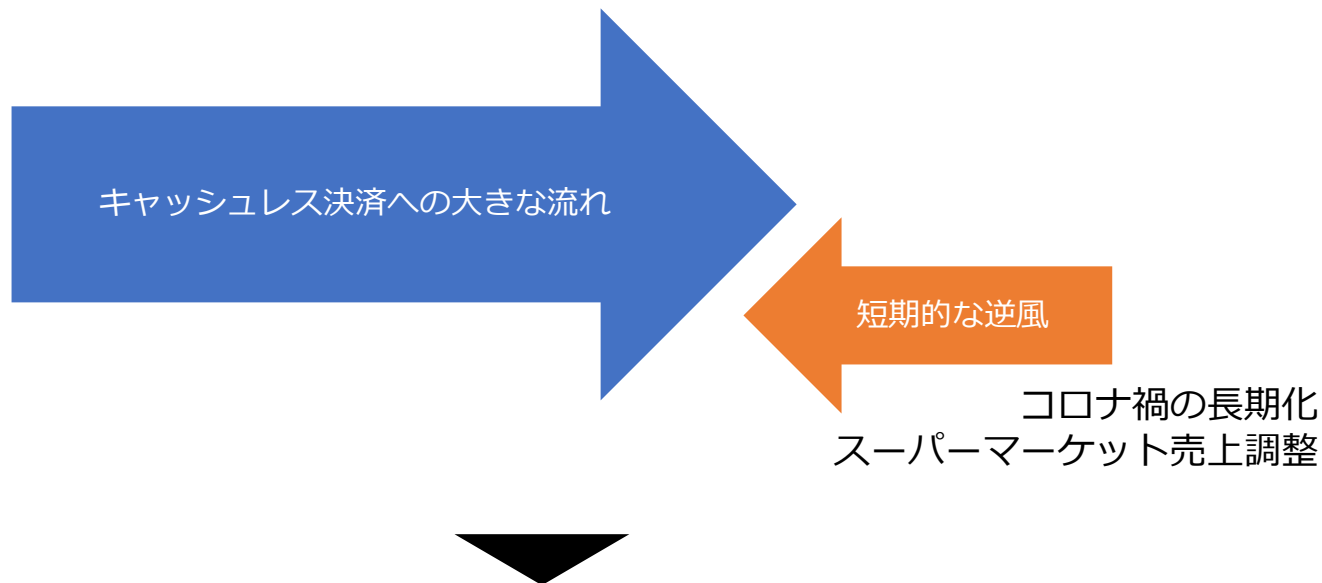
2021年8月期営業利益想定増減要因分析 (億円)





IV. 成長戦略

2021年8月期第2四半期の事業環境認識



**成長加速に向けての積極投資に着手
2021年8月期下半期より成長への仕掛けを推進**

- ✓ キャッシュレスサービス事業の新システムへの刷新を今期末までに予定。
- ✓ 性能面、機能面で、大きく進化し、より幅広いキャッシュレス用途にリーチ。
- ✓ 小売業など全国216万のターゲット店舗への導入に注力。

新キャッシュレスサービスリリース

repica
point+plus

- 会員管理
- 電子マネー/ポイント管理
- 販売促進

新キャッシュレスサービス

新システム刷新による機能/性能強化



ギフト券



多彩な
チャージ方法



家族カード



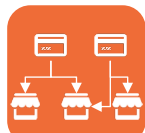
大量の同時
アクセス処理



PCIDSS相当の
セキュリティ



柔軟な
キャンペーン機能



柔軟な
利用制限



アプリ連携



オートスケール

幅広い
キャッシュレス
用途にリーチ

ターゲット店舗
合計 **216.3万**店舗

小売
99.0万店舗

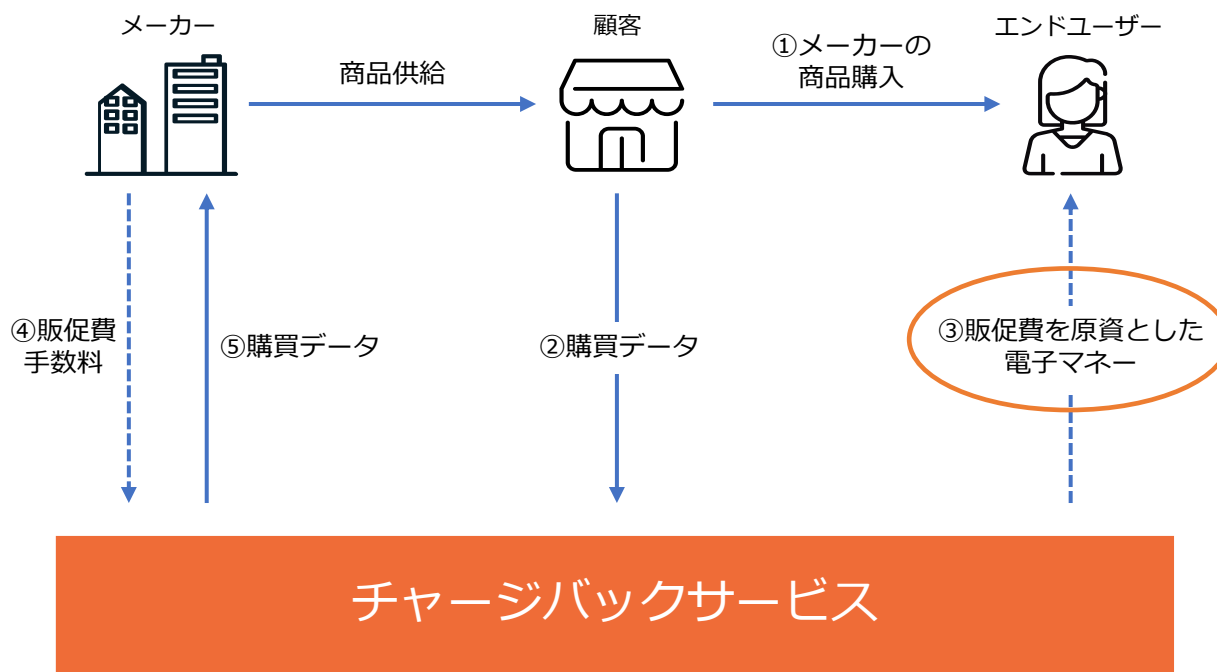
生活関連サービス
48.7万店舗

飲食
64.7万店舗

娯楽
3.9万店舗

- ✓ メーカー販促費を原資とし、電子マネーでエンドユーザーにチャージバックできるサービスを開発中。
- ✓ エンドユーザーは商品の購入で、チャージバックにより実質的な値引きメリットを享受。
- ✓ 今期中に実証実験、サービスリリースを予定。

新しい商品プロモーションのカタチ「チャージバック」



- ✓ 主要顧客である小売業などでは、店舗DXニーズが急速に拡大。
- ✓ 当社の統合型販促ソリューションサービスとの連携要望が増加。
- ✓ 研究開発強化への先行投資や成長加速のための資本・業務提携などあらゆる協業の選択肢も検討。

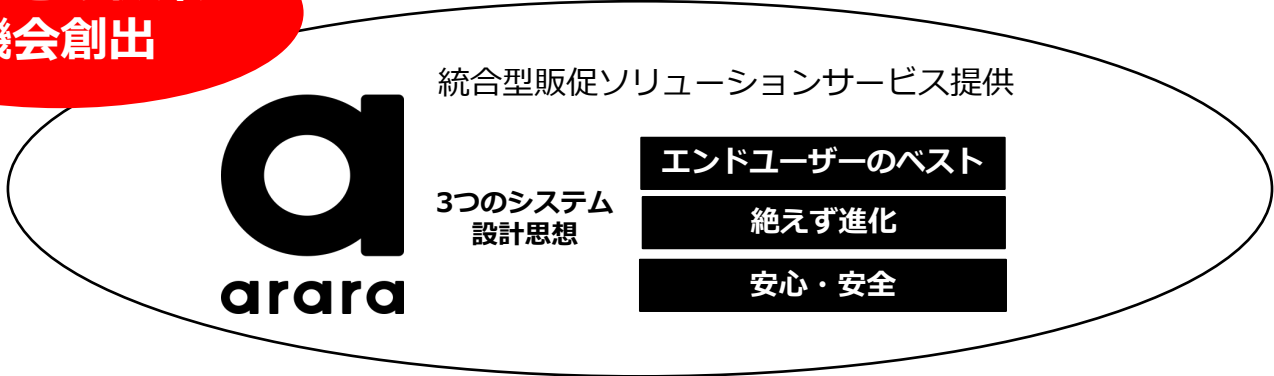


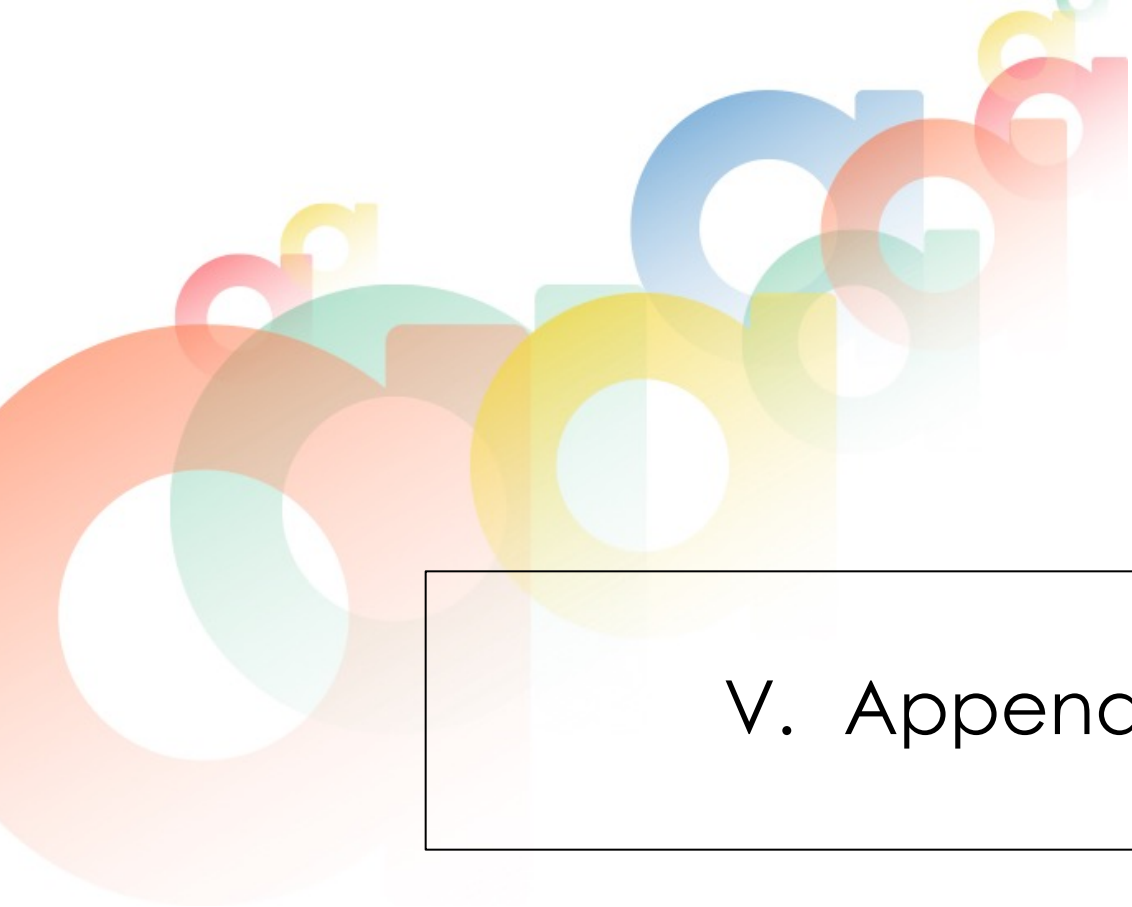
店舗DXニーズの急速な拡大



店舗支援領域はキャッシュレスサービスにとどまらない範囲に拡大

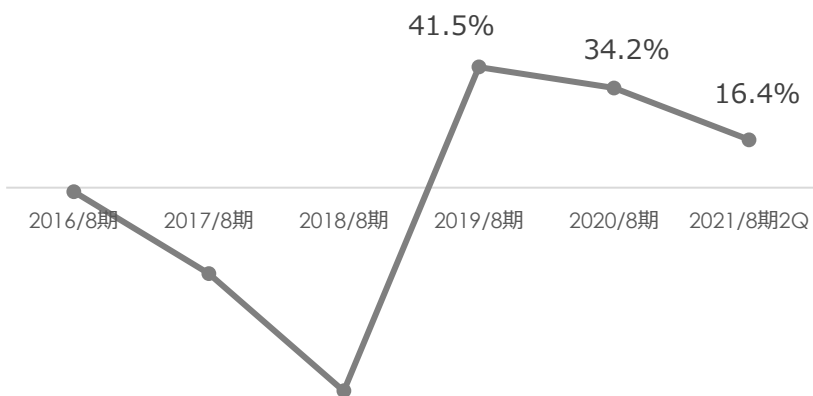
**他社との協業
機会創出**



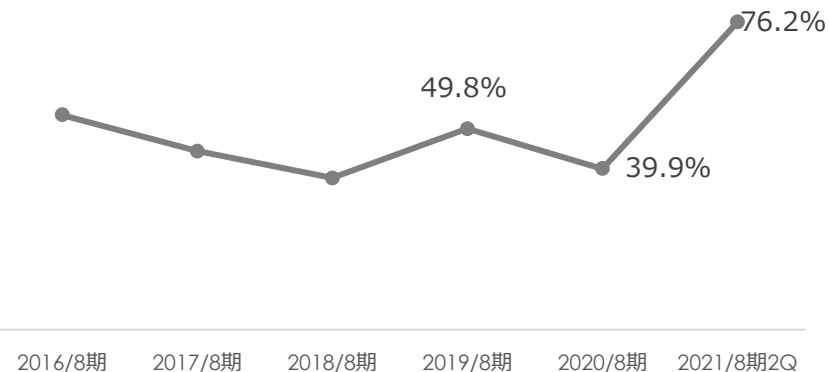


V. Appendix

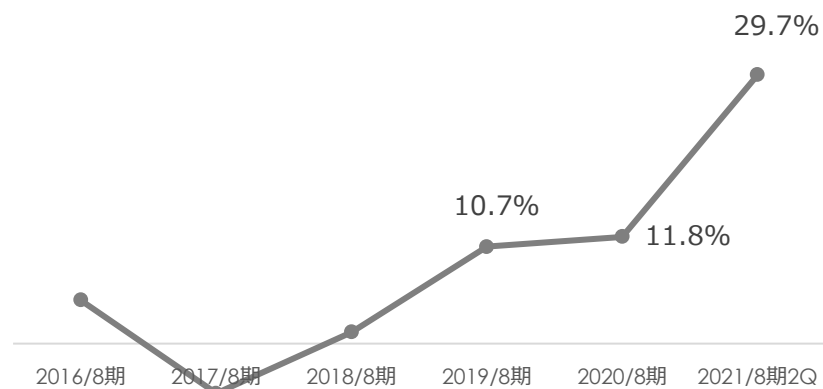
自己資本利益率 (ROE)



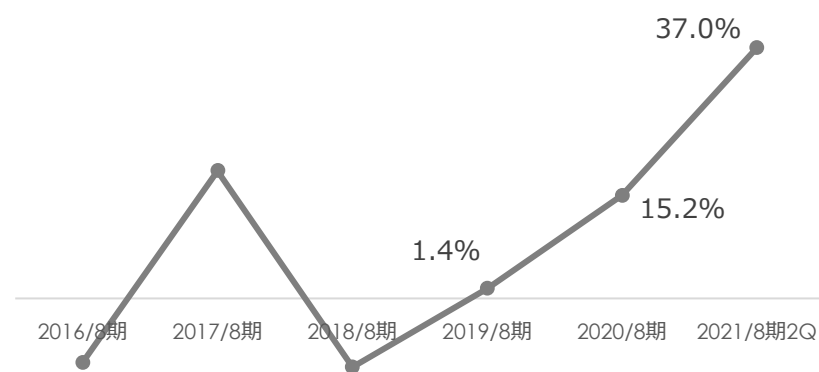
自己資本比率



売上高経常利益率



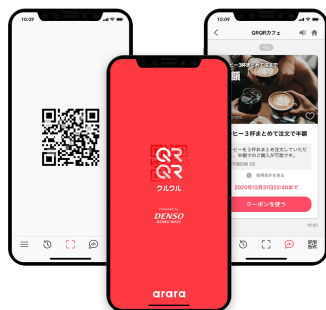
売上高成長率 (YoY)



QR **クルクル**

Powered by **DENSO**
DENSO WAVE

QRコードリーダーアプリ「クルクル」のアララ公式チャンネルを通じて、日々の活動をお届けしております。



＼ QRコード読み取ってチャンネル登録をお願いします。／



クルクル Channel

- 1 スマートフォンのカメラ機能などでQRコードを読み取る
- 2 クルクルのダウンロードページへ遷移後、クルクルをダウンロード
- 3 アプリを立ち上げ、再度こちらのQRコードをスキャン
- 4 アララ公式チャンネルを登録

注：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です

会社名 アララ株式会社

代表者 代表取締役社長 岩井 陽介

設立年月日 2006年8月

役員構成	代表取締役社長	岩井 陽介	社外取締役	水越 宏明
	取締役副社長	井上 浩毅	社外取締役	加藤 徹行
	取締役	竹ヶ鼻 重喜	社外取締役	井上 昌治
			社外取締役	種谷 信邦

本社所在地 東京都港区南青山二丁目24番15号 青山タワービル別館

資本金 6億6,152万円 (2021年2月末)

従業員数 90名 (2021年2月末)



代表取締役社長
岩井 陽介

経歴

- 1989年 株式会社リクルートコスモス（現株式会社コスモスイニシア）入社
- 1998年 株式会社サイバード専務取締役
- 2005年 株式会社サイバード取締役兼執行役員副社長
- 2006年 CYB International President
- 2007年 当社取締役
- 2008年 当社代表取締役社長（現任）

本資料は、当社の業界動向及び事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来展望にも言及しております。

これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在しております。

既に知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性がございます。

当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合がございます。

本資料における将来展望に関する表明は、当記述を作成した時点において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

arara

世界をもっとハッピーに